



資料 3

各圏域別の状況について (北多摩西部)

東京都地域医療構想アドバイザー

一橋大学 経済学研究科

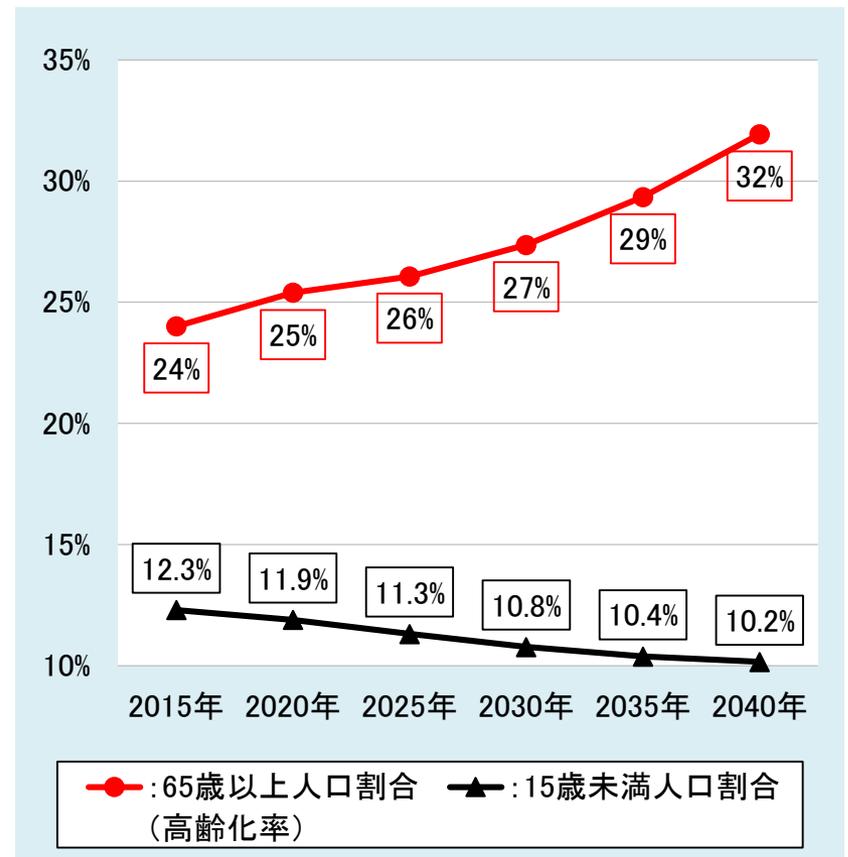
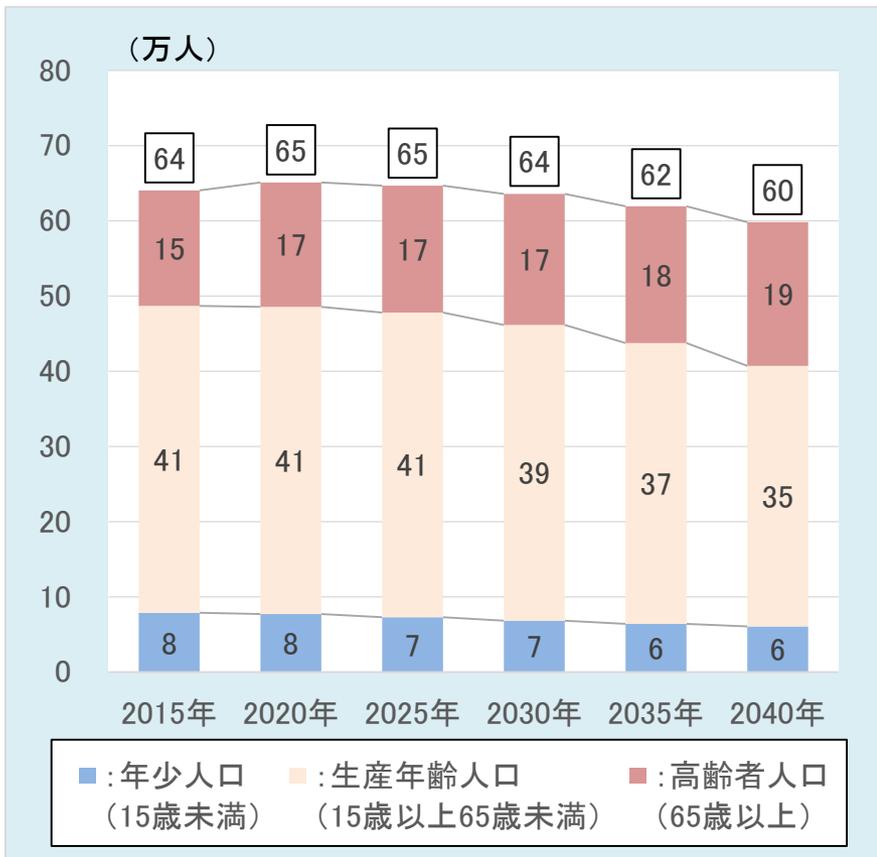
高久 玲音

高橋 雅生



人口動態

- 人口が64万人（2020年）から60万人（2040年）へ
 - 高齢化率：25%（2020）→32%（2040）



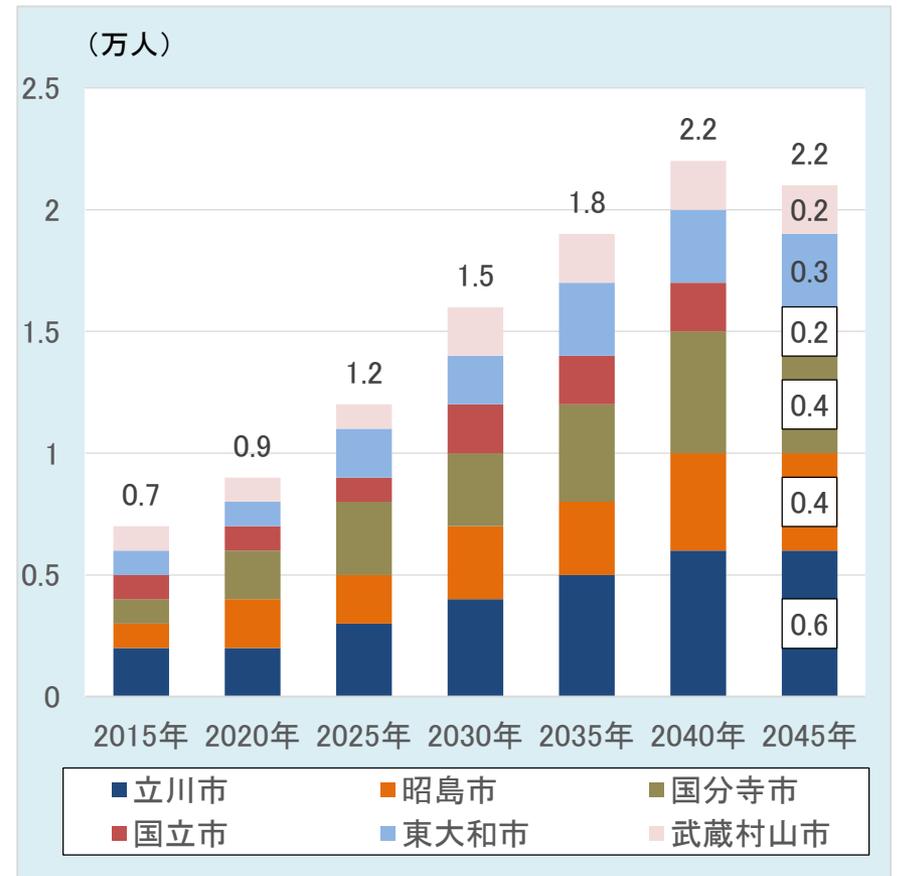
超高齢化の動向

- 死亡者数、90歳以上人口も増加

<死亡者数>



<90歳以上人口>

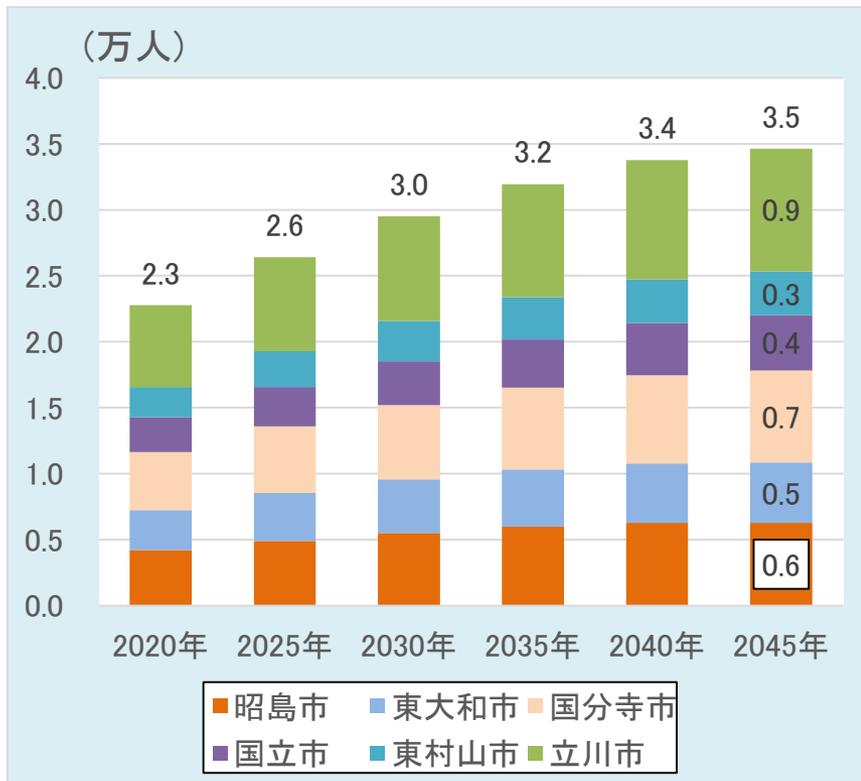




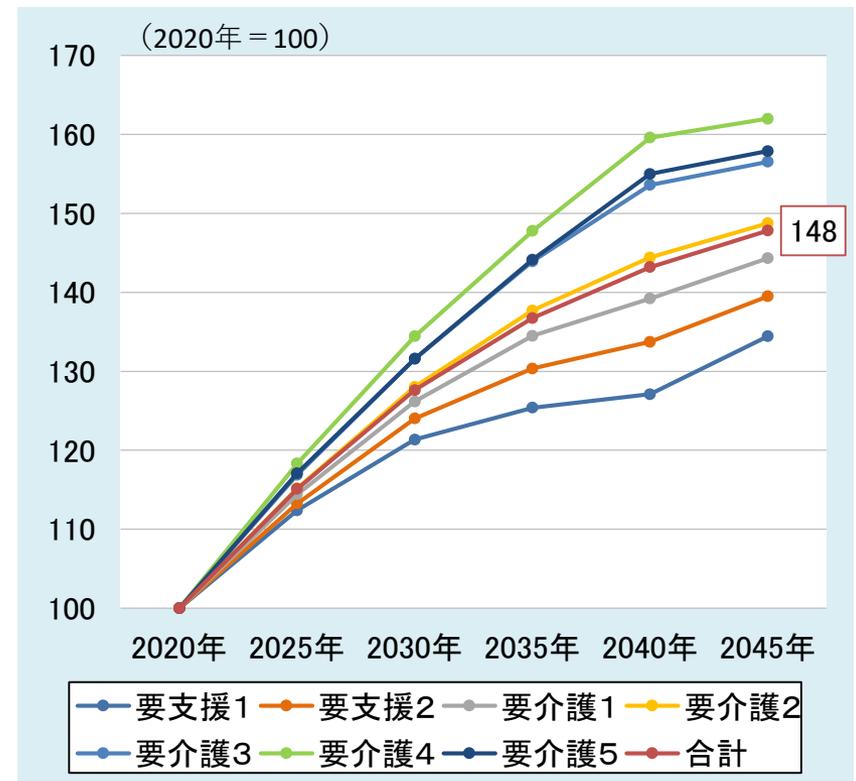
要介護認定者数の将来推計

- 2045年の要介護認定者数は48%増

＜区別要介護認定者数＞



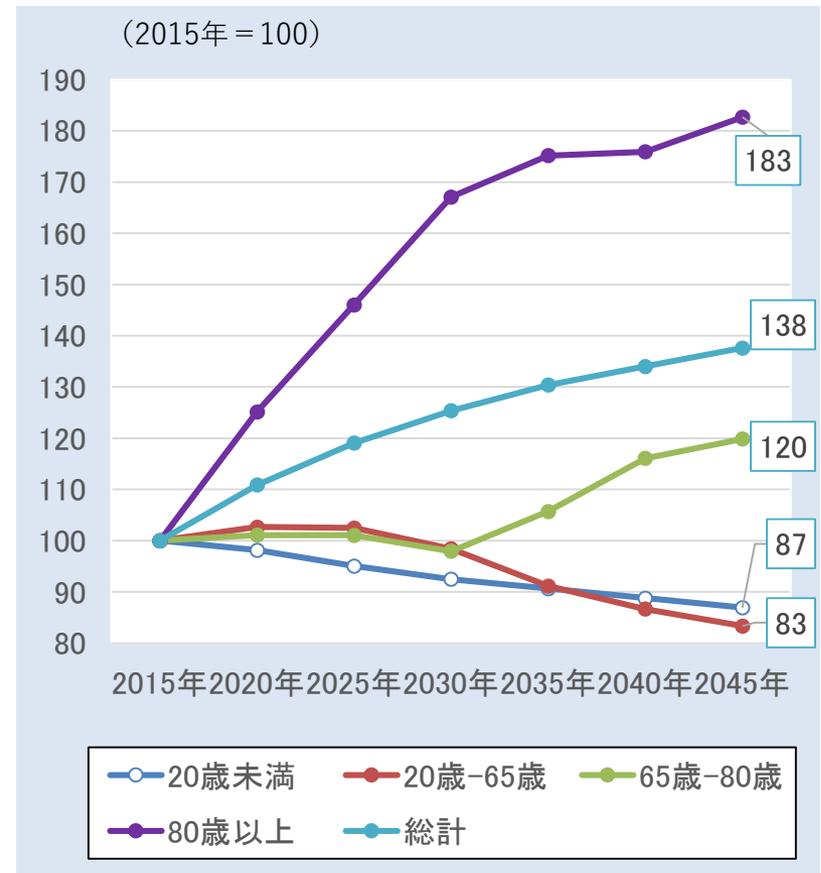
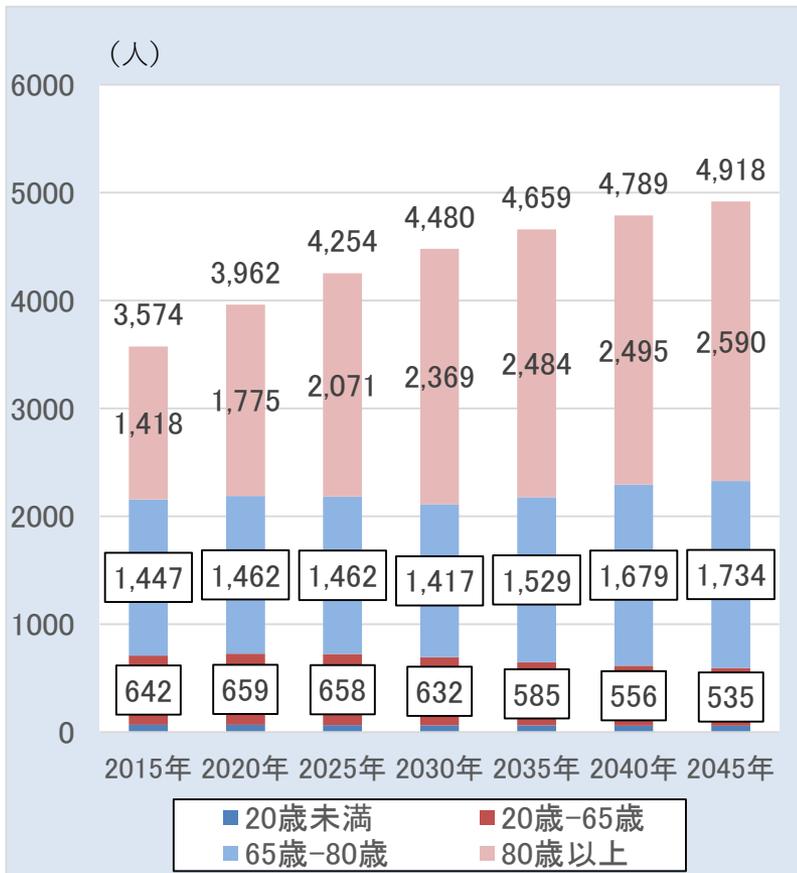
＜要介護度別認定者数＞





入院患者数の将来推計（年齢別）

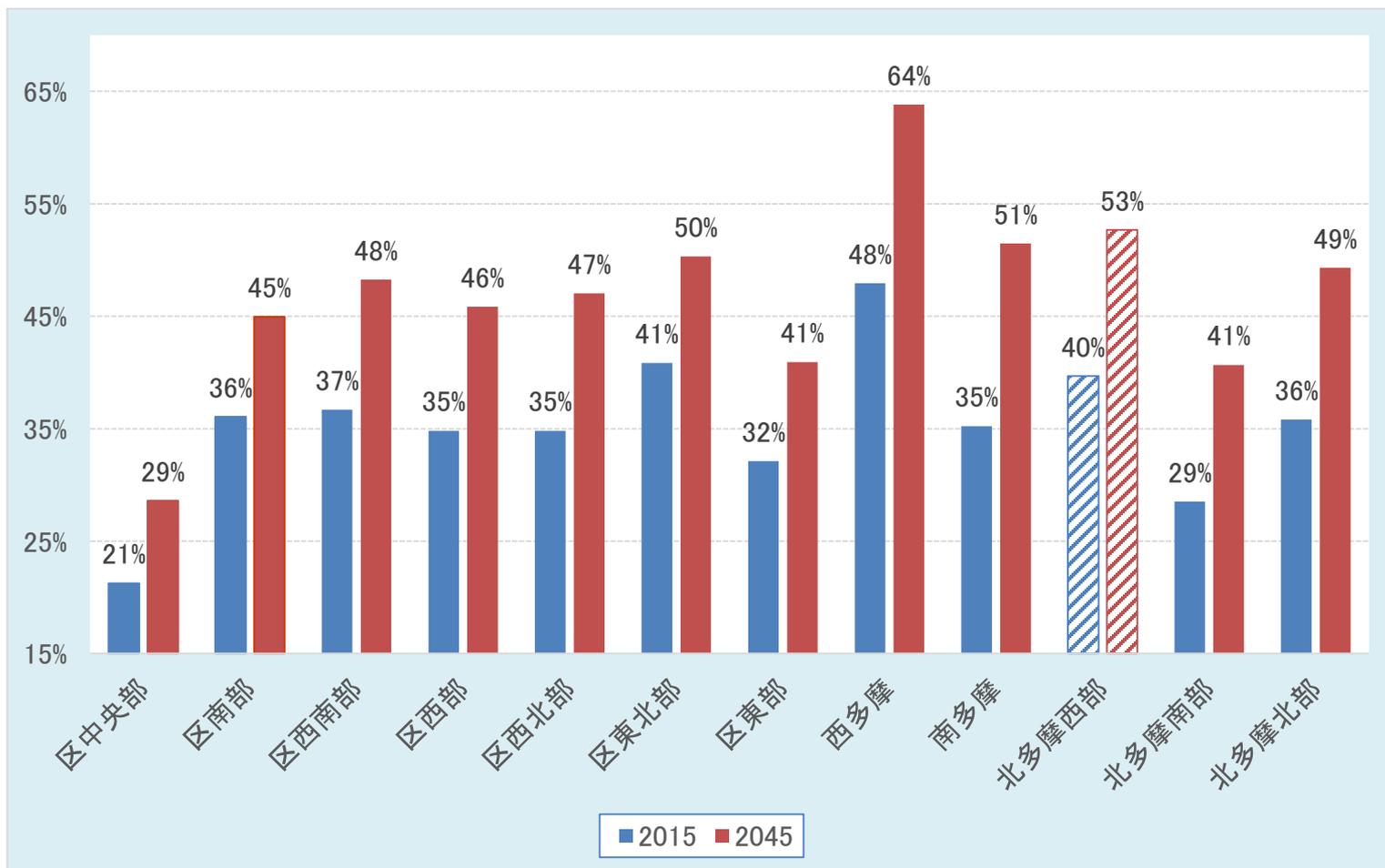
- 2045年にかけて80歳以上の入院患者が83%増加



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。

80歳以上の入院患者割合

- 80歳以上の入院患者は40%から53%へ増加

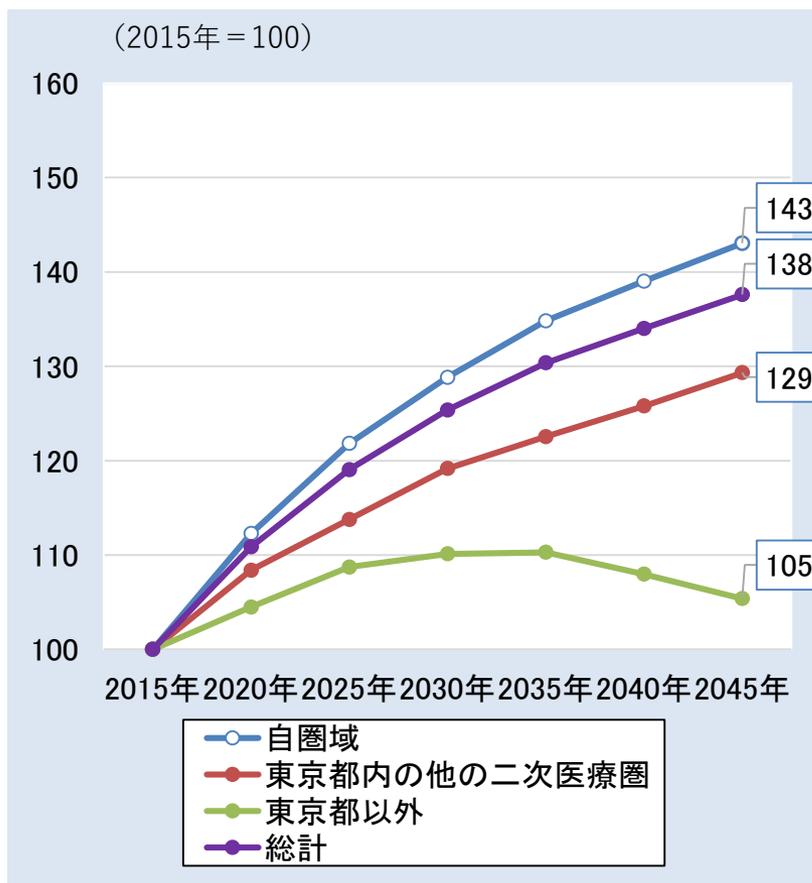
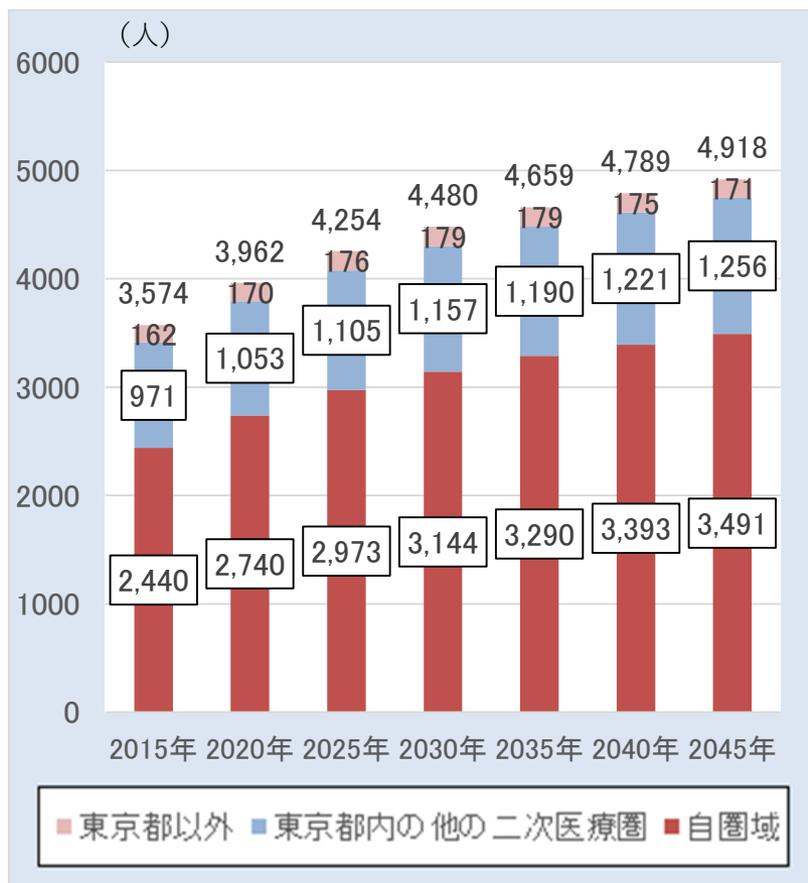


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



患者住所地別の将来推計

- 自圏域の患者数は43%増加
- 都内の他の二次医療圏からの流入も38%増加



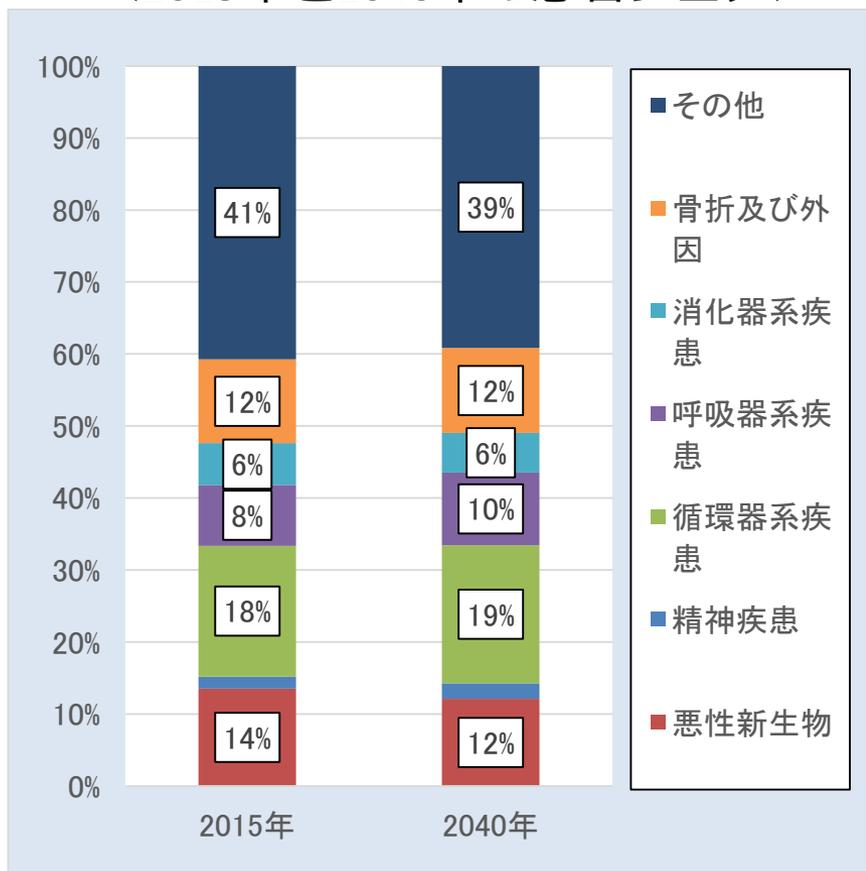
(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



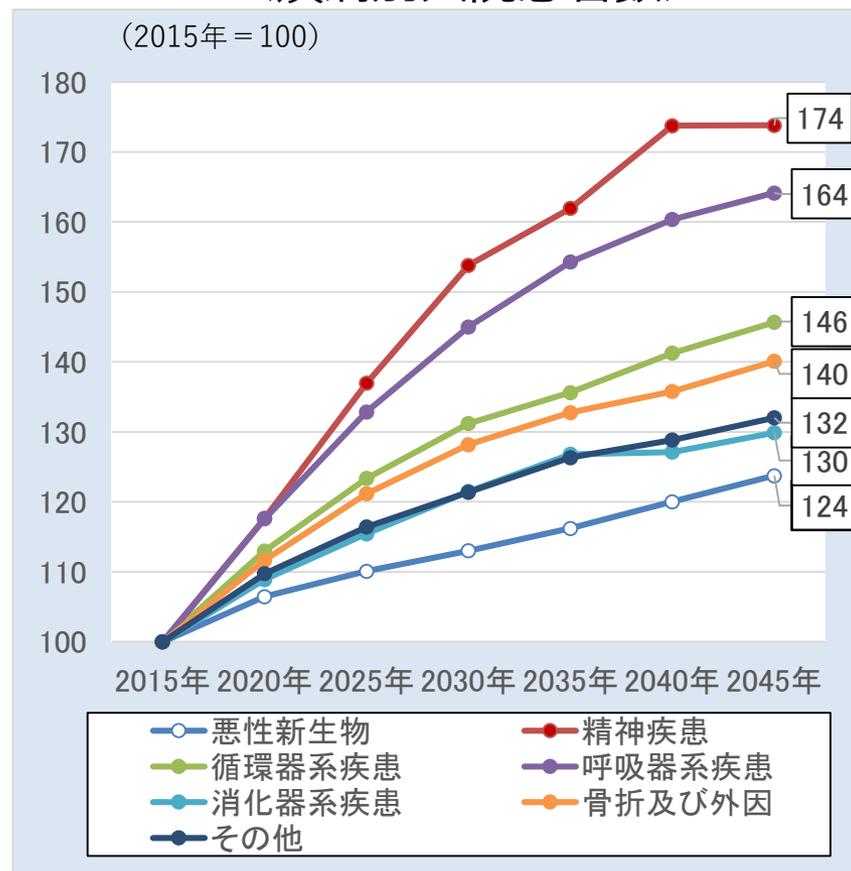
疾病種別の将来推計

- どの疾病でも患者数は増加
 - 悪性新生物の患者シェアは低下、一方で呼吸器・循環器疾患の患者シェアが増加

＜2015年と2040年の患者シェア＞



＜疾病別入院患者数＞



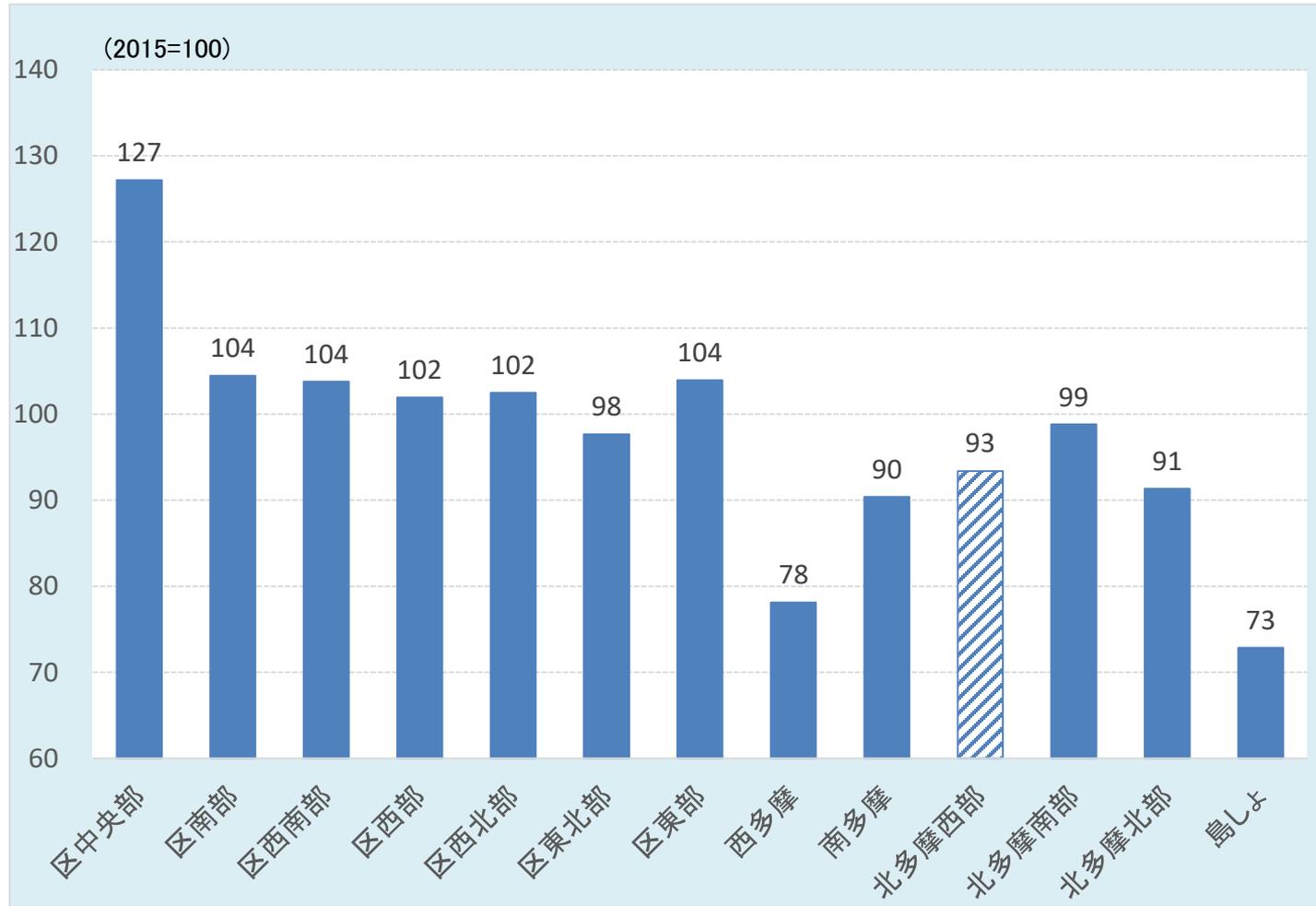


ポイント

- 超高齢化の進展
 - 死亡者数、90歳以上人口の増加
 - 要介護認定者数の増加
- 入院患者数は80歳以上で増加
 - 2045年には53%の入院患者が80歳以上
- どの疾病でも患者数は増加
 - 悪性新生物の患者シェアは低下
 - 呼吸器・循環器系疾患の患者シェアが増加



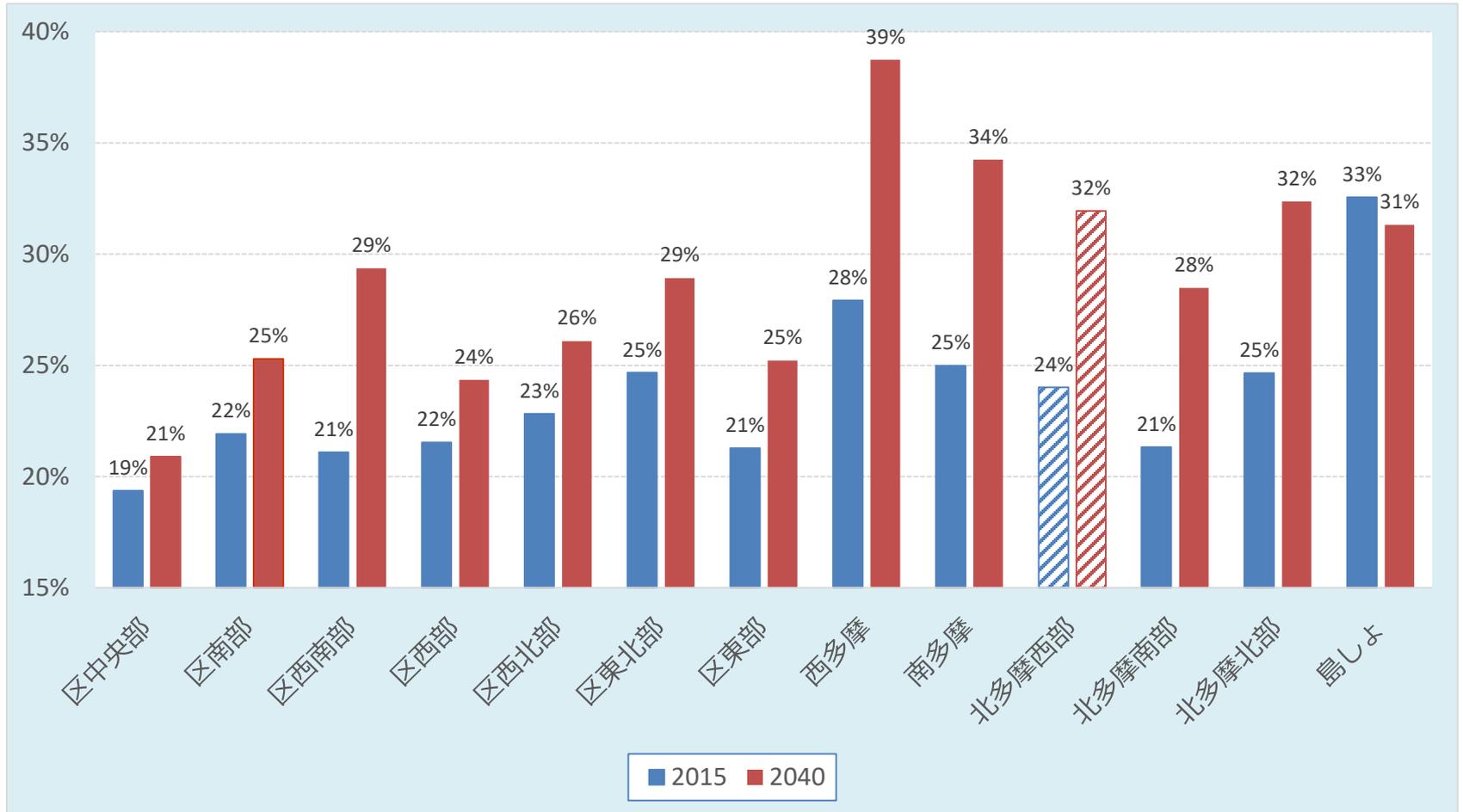
人口総数（2040年）



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



高齢化率

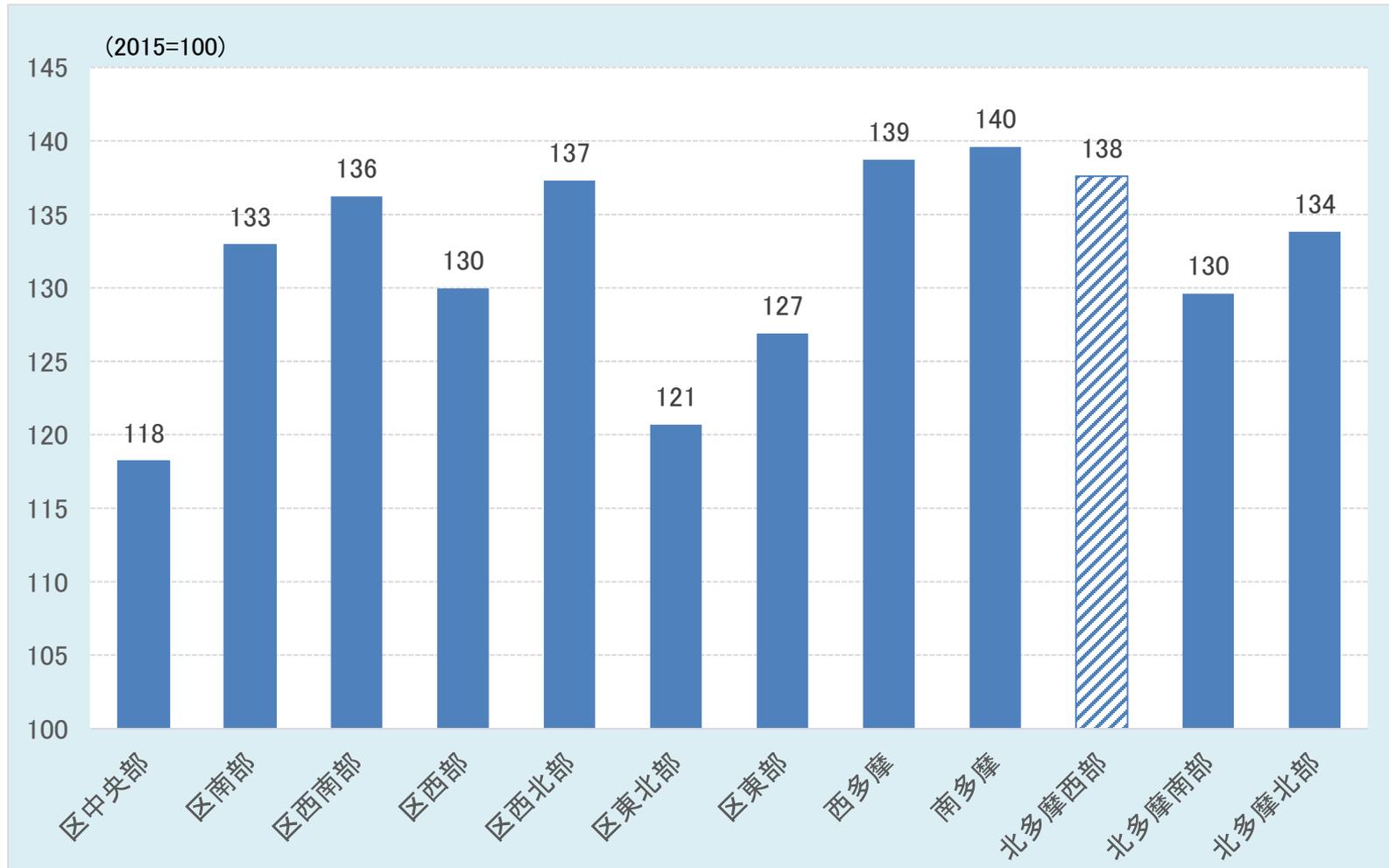


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



入院患者総数：2045年

<入院患者総数：2015年対比>



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



入院患者数の将来推計の方法

- A) 患者調査（平成26年度）の調査票情報を用いて入院患者数を5歳階級別・患者住所地別・疾病別に推計
- 患者住所地は①推計対象となる二次医療圏、②①以外の東京都内、③他都道府県、の3種別で推計
 - 疾病はICD10をもとに7種類（e.g., 循環器、呼吸器）
 - 年齢は0~5歳など19階級
- B) Aで推計した患者数について、推計対象となる二次医療圏への流入率を推計
- 流入率 = 推計対象となる二次医療圏への流入患者数 / 患者総数
- C) Aで推計した入院患者数を人口当たりに換算し、入院患者の発生率を年齢別に一定と仮定して将来人口推計で2045年まで延伸。
- D) Cで推計された将来にわたる入院患者数に対して、推計対象となる二次医療圏への流入率を掛け合わせて、各二次医療圏の入院患者数を算出